



6月のほけんだより

2019年5月24日 子どもの森保育園



もうすぐ梅雨の季節です。この時期は湿度・温度と高くなり、天気も変わりやすいため、体力を消耗してしまい、熱や下痢の症状を起こしやすいようです。毎日の早寝で睡眠を十分に取り、消化のよいバランスのとれた食事を心がけながら、本格的な夏に向かって体調を整えていきましょう。

光化学スモッグとは？

暑くなると時々園の窓に貼られる「光化学スモッグ学校情報/注意報」

とは、大気中に汚染物質が出ています、というお知らせです。

紫外線と大気中の化学物質が反応して光化学スモッグが発生します。気温の高い時期に起こり、日差しがより強くなる夏場は本格化します。

主な症状として目の痛み、咳、気分の悪さなどが挙げられ、まれに重症化します。特にアレルギー性の結膜炎や喘息などの持病がある人は一層の注意が必要です。

マスクなどでは予防できないので

光化学スモッグ注意報が発令されたら、外気に触れないよう屋内で過ごしましょう。



とびひについて

<どんな病気？>

皮膚の表面(虫刺されなどの傷口部分)に黄色ブドウ球菌が感染して起こります。すぐに破れる薄い水疱が体のあちこちにできます。この水疱が破れて菌が他の部位へ移るとまたそこに水疱ができ、広がります。また、とびひは他の人へ接触感染します。特に子ども同士でどんどん移っていってしまいます。キズがある時には気を付けてください。家庭でもタオルを共有するのは控えましょう。

<治療>

早めに病院で治療を受けましょう。抗生物質の軟膏を塗ります。症状が重いときには抗生物質の内服薬が処方されることもあります。かゆみが強ければかゆみ止めも処方される場合があります。



<対応>

とびひ部分は絆創膏を使うのではなく、通気の良いガーゼ等で覆い、患部を乾燥させてかさぶたにさせます。日常生活では手洗いやシャワーで身体を清潔にし、かき壊さないように爪を切ります。これらはとびひの治療に役立つだけでなく、他の人に移さないためにも大切です。

歯ブラシ開いていませんか？

毎日保育園で使う歯ブラシ。食事の後にみんなで仲良く上手に歯を磨いています。子どもの歯ブラシは大人のものより早く毛が開いてしまうようです。歯ブラシの毛先が開き始めるとブラッシング効果は極端に落ちてしまいますので、時々お子様の歯ブラシの確認をしていただくようお願いいたします。

